

東海北陸

Branch Report Vol.70

TOUKAI-HOKURIKU

2019 January



名古屋中区伏見界限

コストがわかれば 建築が見える!



公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ) from Toukai-hokuriku Branch
<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

支部長あいさつ 新年のご挨拶 支部長 碓谷 智彦	1
2019 年度支部定時総会及び懇親会開催のお知らせ	2
平成 31 年 建築八団体新年互礼会 事業計画委員会 委員長 碓谷 将紀	3
会員委員会だより 会員委員会 委員長 中川 英人	4
講習委員会だより 講習委員会 委員長 勝野 徹	4
教育委員会だより 教育委員会 委員長 藤曲 充信	5
資格制度委員会報告 資格制度委員会 委員長 古川 元	5
データベース委員会だより データベース委員会 委員 加藤 一也	6
質疑改善 WG の活動その後 質疑改善WG GL 渡邊 國雄	7
佐野洋治さんを偲んで 副支部長 山田 治	7
東京から その 13「緊急レポート ボルトを訪ねて三千里」 支部会員 西田 彰	8・9
地域委員会 岐阜だより 地域委員会 委員長 加藤 一也	10・11
2019 年 謹賀新年 新年の御挨拶	12~14
賛助会員名簿・建築積算士補教育認定校	15
JAQS 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 東海支部	16
株式会社 大成出版社	17
TOMO データサービス株式会社	18
編集後記	19
協栄産業株式会社	20

新年ご挨拶



(公社)日本建築積算協会
東海北陸支部

支部長 棚谷 智彦

(株)棚谷建築積算事務所

会員の皆様におかれましては平成最後の年をつつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は『建築と積算』新春号と原稿が重なり書くことがなくなっていました。

東海北陸支部設立当初から役員として携わっているのは私だけになってしまいましたのでこれまでの東海北陸支部を振り返ってみることにします。

昭和50年7月に本会の前身母体である日本建築積算事務所協会を社団法人日本建築積算協会へ法人化し、昭和55年5月に東海北陸支部が設立されました。初代支部長の伊藤平左エ門氏は中部工業大学(現中部大学)教授で社寺建築を得意とする何代目伊藤平左エ門と称する著名な方でしたが、まだ若かった私にも優しく接して頂いた記憶が鮮明に残っています。設立から昭和61年度まで3期半勤めて頂きました。

設立から7年が経過したこともあって次期支部長は役員の中からの声もあり、遠藤芳雄氏(建設会社積算部長)が3期半(7年)、鷺見彪氏(設計事務所社長)が1期(2年)と、平成2年11月から建設大臣認定建築積算資格者審査・証明事業の実施により多忙な時期に支部長を引き受けて頂きました。

平成9年度から平成18年度まで5期(10年)は支部設立に多大な尽力をされました杉浦譲治氏が4代目支部長として支部設立以来16年目でやっと表舞台に登場しましたが平成13年に国土交通省の告示廃止に伴い建築積算資格者審査・認定事業を建築積算資格者認定事業(現建築積算士)に移行することになり、国家資格から民間資格になるという事で、一番大変な時期を無

事に勤めて頂きました。

10年を節目に協会活動を引退された杉浦氏の後の支部長選任は大変苦勞しました。小野徹郎氏(名古屋工業大学名誉教授)は構造設計の権威であり「積算は解らない」と言いつつも役員全員で補佐することで了解を得て、5期(10年)も甘えることとなりました。「何で小野先生が積算協会の支部長なの?」と聞かれる事が多々ありましたが、私の中で小野先生は積算協会の小野支部長でした。5期目の支部長を引き受けて頂く条件として次期支部長は私と指名して頂き約束の1期2年をあと少しで終わり、次期支部長に繋がります。

次に事務局及び事務局長のお話を少しします。設立当初は予算も少なく事務局は積算事務所の一角に机と電話を置かせて貰う問借事務局でした。平成3年11月に伏見白川ビルへ設立10年日で念願の自前事務局が持て、平成7年12月に昭和ビルに移転し現在に至ります。

事務局長は平成4年から山本一氏(H4-H10)、加藤敏明氏(H10-H12)、河邊信行氏(H12-H17)、と続き、特に建設大臣認定建築積算資格者審査・証明事業と建築積算資格者認定事業の移行時の事務局長であった山本氏と河邊氏にはご苦勞かけました。平成17年から現在まで道家保義氏に頼りきっています。今後ともよろしく願いいたします。

新年のご挨拶とは程遠くなりましたが、お名前を挙げた方々と今日までご協力頂いた役員・委員の皆様、そして会員皆様のお陰で東海北陸支部は頑張っただけではありません。これからもよろしく願いします。

最後にもう一人私の中で大事な人、元副支部長の佐野洋治氏が7月に亡くなりました。大の巨人ファンで口うるさい人でしたが何故か憎めない人でした。本当にありがとうございました。

(公社) 日本建築積算協会
東海北陸支部正会員 各位

(公社) 日本建築積算協会東海北陸支部
支部長 劔谷 智彦

2019年度支部定時総会及び懇親会開催のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当支部事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記定時総会並びに懇親会を下記の通り開催予定でございますのでよろしくお願い申し上げます。

お忙しいとは存じますが、出来るだけ多くの会員皆様方にご出席頂きたく早々にご案内申し上げる次第です。

謹白

記

《定時総会》

1. 日 時：2019年4月19日（金） 17時より
2. 場 所：TKPガーデンシティ栄駅前
名古屋市中区栄4-2-29 名古屋広小路プレイス6階
電話 052-990-2729
地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12番出口すぐ
3. 議案
第1号議案 2018年度事業報告承認の件
第2号議案 2018年度収支決算報告承認の件
第3号議案 2019・20年度支部役員選任の件
4. 報告事項
2019年度事業計画及び収支予算に関する件

《懇親会》

1. 日 時：2019年4月19日（金） 18時より
2. ところ：TKPガーデンシティ栄駅前
3. 会 費 6,000円



平成31年 建築八団体新年互礼会

事業計画委員会
委員長 研谷 将紀

平成31年1月11日 名古屋国際ホテルにて、建築八団体による「平成31年新年互例会」が行われました。

今回は我々(一社)愛知設備設計監理協会の幹事にて行われ、植田会長による主催代表挨拶では、「平成」の時代にて建築業界を取り巻く目覚ましい移り変わりをお話され、夢や知恵を持って将来の技術者の為繋がる一年としましょう！と平成最後の新年互例会が始まりました。



来賓挨拶として、国土交通省中部地方整備局長 勢田 昌功氏・愛知県知事 大村 秀章氏・そして懇談が始まってからではありましたが、名古屋市長 河村 たかし氏がお忙しいなか駆けつけて頂きました。

勢田局長からは昨年の災害や人口減などの課題に対応する住宅建築市場の確保が求められている今、国土交通省では安心安全・省エネルギーに対応する施策の推進をはかっているそうです。また10月に行なわれる予定の増税にたいして、住宅ローンの減税・ポイント制度も行なっていくそうです。大村知事からは、知事になって8年を振り返り、8年前はリーマンショック後のどん底だった愛知経済だったが、この8年間で愛知県の人口が13万人も増えGDPも大阪を抜いて全国2位にまで盛り上がってきて、今現在でも土地・建物の問い合わせも多いそうです。またテレビでも人気のある池の水を抜く工事が

知多市の公園でも行なわれた話しをされました。河村市長からは、IR(統合型リゾート)推進の話しをされましたが、役人があまりやる気がないらしく大阪の方がIRに意欲があるそうです。日本ではなかなか成功しにくいIRですが、東京と大阪の間である名古屋なら地の利も良く、財政的にも潤沢だそうなので、お金を使って更なる経済の発展、そして楽しめる名古屋にしていくとのことでした。そして今年も名古屋城木造化と減税の話しもしっかりされていました。



表彰者披露は、黄綬褒章として
(公社)愛知建築士会 会長 柳澤 講次氏
国土交通大臣賞として
(公社)愛知建築士会 副会長 中島 祥成氏
が受賞されました。

その後懇談となったのですが、今年の余興は無く、皆様がそれぞれにて新年の挨拶や歓談をされていました。

また、抽選会では今年も大きな成果を得ることが出来ず、上位の賞ではありませんが(株)二葉積算の中島さんと(株)棟建築企画の和田さんの2名のみでした…



会員委員会だより

会員委員会

委員長 中川 英人

いつも会員委員会活動にご理解を頂き有難うございます。前支部報にも記載したことですが、会員委員会の活動の根幹は、協会経営の基盤となる個人会員、賛助会員、将来会員となる可能性のある学生会員数の増強です。最近特に思うことは建築を学ぶ学生が建築積算、建設コストに対してもっと理解を深める教育がなされなければならないということです。建築生産活動は、設計、施工、コストのトライアングルで成り立っていますが、学問としては設計施工に重点がおかれ、積算・コストの部分はほんの触りだけを記述している程度に過ぎません。数量拾いのルールはその職業に就いた時に実践で覚えていけばよいでしょうが、建築生産において、機能と経済性のバランスを図っていくプロジェクトコストマネジメントは今後ますます重要な役割を担うこととなりますので、考え方や手法、また建築経済などは、教育にしっかりと取り入れていくべきと思います。

10月、11月、建築積算教育認定校を登録された専門校に講師として携わる機会を頂き、実際の学生さんを前にしたとき、この人たちにはただ資格取得のための講義だけではなく、建築を経済的な観点から支えるのが建築積算であり、その重要性をしっかりと伝えたいと考えました。それは日本の将来の積算業務の方向としては、やはり英国のクオンティティ・サーベイヤーのもつ役割に近づけていくことではないかと思っているからです。協会設立の出発点もここにあった訳で、これはやはり教育の場から、QSの役割、業務範囲などをしっかりと提示して、社会に出てからでもその分野で是非活躍したいと思う人材を育てていかないことには積算協会に目を向けてくれません。それには我々協会会員の日々の努力は大事で、コストエンジニアとしての実践と研究を積み重ねていかねばならないと考えています。

講習委員会だより

講習委員会

委員長 勝野 徹

【ネットに掲載されていた文章です。】

「いまから帰るよと夫からハート付きLINEがきました。毎日早く夫が帰ってこないかなー、と思います。朝も行ってらっしゃいと言うとき寂しいです。

頑張り屋さんで、頼もしくて、可愛くて、たまにだけ面白い。結婚してくれてありがとうと言いたいです。あと30分したら愛しの夫が帰ってきます。嬉しい。」

新しい年を迎えました。是非、楽しい年！楽しい人生！にしましょう。積算協会も楽しい・嬉しいと思われる活動をしていきたいと思ひます。

【楽しい講習会開催に向けて】

- ・建築積算入門
- ・数量積算の実技
- ・鉄骨工事の積算
- ・改修工事の積算
- ・コスト管理士講習会
- ・積算士講習会
- ・出張講習会

今期は以上の講習会に加えて「わかりやすい建築積算講習」を北陸で開催しました。

来期は改修工事の積算に替えて、概算積算を開催したいと考えています。・・・がもっと魅力ある講習会テーマも探していきます。

建築技術者の方でも、積算業務をしていない方は簡単な拾いを講習会でやってもらおうと、全くというほど出来ないこともありましたが、積算実務者の方々は、当たり前と思っていることが、それ以外の建築技術者にとっては難しくなっているようです。逆に我々も頭が固くなっていて、魅力ある・嬉しいと思われるテーマ・講習内容が探せていないのかもしれないかもしれません。みんなで知恵を出し合っていきましょう。よい年になりますように！！

教育委員会だより

教育委員会

委員長 藤曲 充信

新年あけましておめでとうございます。

今年は自然災害が特に多く、更には夏の猛暑と年末の寒波で大変でしたが、皆さんは如何お過ごしでしたか？私自身の2018年は、社会的な立場も変わり試行錯誤の一年でした。

我が国は、2019年20年はスポーツイベントを控え、観光国への変身を目指す中、建設業界も好景気に沸いています。一方では、資材不足や価格高騰そして技術者や労働者の人手不足は切実な問題です。

積算業界でも同様かと思えます。

教育委員会もこの問題に立ち向かい、積算技術者の育成と養成に取り組むべきかと思えます。明日の建設業界を担う若手を育て、建設業界の一員として貢献したいと考えますが、建設への魅力の低下や積算業務に対する重要性についての告知不足など、今まで以上の活動が必要と思われまます。

教育委員会としては、建築積算士補取得後のキャリアアッププランについて、各教育機関への告知活動を行い、建築積算士補の資格取得からインターシップ更には、建築積算士への受験や就職の活動から内定までのサポートを一つの流れと考え、指導者への負担軽減と指導内容の統一化を構築致しました。建設業界に携わる企業の方々にご利用いただき、積算業務への興味と魅力そして、重要性を伝えてもらいたいと思えます。

我々の積算業務は、特殊技能を兼ね備えたサービス業であり、生涯の仕事として遣り甲斐と達成感を得られるかと思えます。今期も残り3か月ですが、教育委員として様々な活動計画を考えながら、委員の皆さんとともに少しでも積算業界や学校への教育に貢献できる様に行動して参りたいと思えます。

建設業界や教育機関に携わる皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

資格制度委員会報告

資格制度委員長

委員長 古川 元

新年あけましておめでとうございます。2018年度の建築積算士一次試験・建築コスト管理士試験・建築積算士更新講習が実施されました。

建築積算士一次試験

名古屋会場 10月28日

T K P名古屋ガーデンシティ栄駅前

受験者 29名 合格者 21名

建築コスト管理士試験

名古屋会場 10月28日 昭和ビル

受験者 11名 合格者 4名

金沢会場 10月22日 勤労福祉文化会館

受験者 1名 合格者 1名

建築積算士更新講習

インターネット・Eラーニング

受講者 258名

DVD・Eラーニング

受講者 120名

会場受講DVD・Eラーニング

名古屋会場 受講者 7名

建築積算士一次試験の合格率は72%、全国の合格者212名、合格率68%となっております。建築コスト管理士試験は50%、全国の合格者118名、合格率74%でした。

建築積算士二次試験 実施予定

名古屋会場 1月27日 昭和ビル

受験者 58名

金沢会場 1月27日 勤労福祉文化会館

受験者 21名

2014年度に建築コスト管理士資格を取得された方は2019年3月までにCPD年間単位数16単位、5年間で80単位が必要となります。単位取得例をご参照の上、規定単位数を取得されますようご案内申し上げます。

データベース委員会たより

データベース委員会
委員 加藤 一也

明けましておめでとうございます。

新元号発表は2019年4月1日頃の事です。

天皇陛下が4月30日に退位された後、翌5月1日に皇太子さまが新天皇に即位されるのです。

平成の元号が終わりを告げます。

新元号は何になるのか今から楽しみではありますが、まずは残念なお知らせを1点。

①先月号で、将来解体時建築副産物のデータ募集のお願いをしておりましたが10月15日時点で50件ほどの病院のデータが集まりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

手順を説明すると現在50件ほどのデータの中から会員の皆様が欲しいであろうデータを委員会で選別。30件ぐらいにしぼり2018年度末までにはまとめてホームページに掲載する予定でしたが、難しそうです。

理由として、データ分析作業が久しぶり(2013年依頼ですから5年ぶり?) なのと、5年前に作業した委員が引退した事により、新委員が受け継ぎますが、作業手順等のノウハウを身に付け慣れるまでには予想以上に時間がかかっているうえに、先輩委員が構築した実績と、『会員の皆様に応えるために詳細なデータ解析をした結果が欲しい』と言う期待が、良い意味でのプレッシャーを感じながら不慣れな作業を進めております。

手間のかかる要因(手順)について、ほんの一部ですがご紹介させていただきます。

まずは①工種ごとの集計一覧表作成から始めます。

続いて②(t)あたりの積算集計シート(右に表示した一覧表)を作成します。一覧表見ていただくとわかりやすいかと思えます。

次に③、積算集計シートm3/mに換算したシートの作成を行います。この仕分けに手間がかかるのです。

集計したものがグラフで表現されます。

項目	積算の単位	積算の単位	積算の単位	積算の単位
鉄骨造	3.00	3.00	3.00	3.00
SRC造	3.00	3.00	3.00	3.00
木造	3.00	3.00	3.00	3.00
合計	3.00	3.00	3.00	3.00
1-01 鋼骨コンクリート	1.00	1.00		
1-02 鋼骨コンクリート	2.00	2.00		
1-03 鉄骨造(S造)	0.00			
1-04 鉄骨造(SRC造)	1.00			
1-05 ティッププレート造	1.00			
1-06 木造	0.00			
1-07 PC造	0.00		0.00	
1-08 コンクリートブロック	0.00			0.00
1-09 ALC造	0.00			
1-10 野田造	0.00			
1-11 木造	0.00			
1-12 クレタ	0.00			
1-13 土	0.00			
1-14 土	0.00			
1-15 土	0.00			
1-16 土	0.00			
1-17 土	0.00			
1-18 土	0.00			
1-19 土	0.00			
1-20 土	0.00			
1-21 土	0.00			
1-22 土	0.00			
1-23 土	0.00			
1-24 土	0.00			
1-25 土	0.00			
1-26 土	0.00			
1-27 土	0.00			
1-28 土	0.00			
1-29 土	0.00			
1-30 土	0.00			

②集計表

次は楽しみなお知らせ

②講習委員会が開催する「ここが知りたい勉強会 Q&A」にて、鉄骨建物(S造、SRC造)の積算にあたり、積算基準にはないが現場経験値から察して必要だと考えられる、例えば、鉄骨足場を下階から上階に移動する昇降用のタラップ等の設置用治具や、下階に物(ボルト、金物等)が落ちないようにする網状の柵(水平柵)を設置する金具等について説明する予定です。

今後もデータベース委員会は会員の皆様のご要望をいただき、それに答えるべく今後使えるデータベースの構築を新元号と共に進めて行こうと考えています。2019年も宜しくお願いいたします。

質疑改善WGの活動その後

質疑改善WG

GL 渡邊 國雄

質疑改善ワーキンググループの活動については前回支部報 NO.69 (2018年7月)において「一覧型の質疑書」と「設計図について-積算を担当する立場から-」の概要について掲載しました。6月4日には建築八団体連絡会に出席し説明をし、同時期に支部役員にも同じ資料を配信し意見を伺いました。建築八団体からは「設計図について-積算を担当する立場から-」は要求される設計図の情報として何が必要で何が必要でないかを考える資料として役に立つのではないかと、との意見を頂きました。これは質疑改善をアピールする良い機会と捉え8月6日に行われる名古屋市副市長との懇談会に採り上げていただくように働きかけましたが、残念ながら名古屋市から不採用との知らせになりました。

現状は、前述の資料を本部に「提案書」の形で提示しましたので、今後の展開などの意見が出されるものと思われれます。一方各支部に対しては、さまざまな情報を得たいとの思いからアンケートを実施しました。設計事務所・積算事務所・建設会社の実務担当者から、「一覧型の質疑書」と「設計図について」について評価をしてもらいます。質疑改善の主旨については、以前より支部会議において棚谷支部長から十分な説明と宣伝がなされていますので、アンケートにより各支部を巻き込んだより現実的な意見が得られるものと期待しています。

質疑改善ワーキンググループとしては今後アンケートの分析結果をふまえ、2019年3月を目標に本部了解のもと一年間の成果として東海北陸支部ホームページに掲載したいと考えています。本部、各支部からどのような意見を寄せられるのか分からないところもありますが、いずれにせよ質疑改善ワーキンググループの活動を良い形で結実させていきたいと思っています。

佐野洋治さんを偲んで

副支部長

山田 治

最後にお会いしたのは、昨年秋口の委員会でした。歩くのも難儀で大好きなゴルフも封印し、治療に専念するとのことでした。

その後今年の四月にわざわざ電話があり、車椅子生活で大変なのだがどうしてもOB会に連絡を取りたいとの事で橋渡しをしました。私も遠方に赴任しており、ついぞおめにかかる事もできず、突然の訃報には、言葉もありませんでした。

佐野さんとのご縁は、私が見積部に配属された時からです。当時は躯体の課長であり、毅然として見積書のチェックをされていた姿が懐かしく思い出されます。

残念ながら直属の上司ではなかったのですが、なぜか馬が合い、見積の基礎を叩き込まれたものです。教え方はちょっとやんちゃで、無茶ぶりも多々ありましたが、親分肌の面倒見の良い方でした。

とある物件の数量突合せで、土工事の床付け数量が多いと指摘されたときは、すぐに私に向かって積算基準通りに修正しなさいと叱咤されました。間違いは即認めるが、理にあわぬことは一歩も引くことなく、正論を語る方でした。

私が積算士の資格者だったこともあり、積算協会の役員へ推挙されてから、11年間というものは佐野さんの後ろを歩んできました。公私ともに本当にお世話になりました。

協会での佐野さんの発言には、誰をも説得する重さがあり、佐野さんの発言で皆が納得し、すんなり解決することも度々ありました。

佐野さんが長年にわたり、日本建築積算協会東海北陸支部にご尽力された思いを忘れることなく、私たちは活動を引き継いでまいります。

心からの敬意を表したいと思います。どうぞやすらかに眠りください。 合掌

(2018年7月10日ご逝去 70歳)

東京から その13

「緊急レポート ボルトを訪ねて三千里」

支部会員 西田 彰

お元気ですか～!! 久しぶりの「東京から」です。原稿は溜まっていますが、支部報の空きがないのでなかなか掲載が遠のいていました。今回はまじめな緊急レポートの特別編です。

先日、広報委員会の席で「このところ鉄骨・ボルトの材料がなかなか手に入らず工期がつかめない。鉄骨造のコストが跳ね上がっている。また、現場監督がいなくて困っているなど色々厄介な問題があるが、オリンピック関連の工事で東京に人と物が集中しているのではないか・・・」ということで、そのあたりの事情や東京の様子を伝えてほしいとの依頼があり、さっそく調査をしてきました。東京高力ボルト需給動向研究所の応援により、高力ボルトを中心にお伝えしたいと思います。

「いつまでもあると思うな ボルトと鉄鋼」

(高力ボルト不足の実態)

これは全国的なことですが、今年の8月初め頃から不足気味だと言われ始め、今後も続くと言われていきます。以前は1.5ヶ月程で現場納入ができたものが、現在は6ヶ月程かかるそうです。特に北海道で顕著に表れていますが、現場納入までに8ヶ月弱かかるとの国交省の資料もあります。現状では、現場納入の6ヶ月程前にボルト数量資料などによる仮注文を行い、3ヶ月前にボルト明細表による発注が必要だと言われています。実際に、仮ボルトによる一時的対応を迫られている現場も出始めています。また、アンカーボルトも同様入手困難で、基礎工事が進まないという現場もあります。

(不足の原因は?)

以前、オイルショック(S48年)の時にトイレットペーパーがスーパーから消えました。これは、某新聞社が「あつという間に値段は二倍」と見出しに書いた

ため、トイレットペーパーの買い占めに主婦が翻弄されたという・・・デマがデマを呼び

お粗末な事件となりました。一部では大量な買い占めがあったため更に不足に拍車をかけたと言われていますが、日本の紙生産は安定しており、実際には十分にあったそうです。

東日本大震災の後には合板が無いと大騒ぎをしましたが、被災企業による合板供給量の減は12%です。さほどの量でもないのに、なぜ合板は消えたのか? 不足をするという予想から、全国の流通業者や工務店等において、手持ち在庫の確保のために通常の何倍もの発注を行ったためだと言われています。いわゆる買い占めです。では、今回のボルト不足の原因を見てみましょう。

①東京オリンピックや大型の再開発など、ここ数年全国的に建築物件が多く、鉄骨需要が旺盛であり、ボルトが必要とされています。

ちなみに今年の9月迄の首都圏の新規大型物件をあげてみますと・・・

事務所・再開発 150,000 m²以上

22物件 6,532,276 m² 平均 296,291 m² /1件

店舗・ショッピングセンター 100,000 m²以上

4物件 519,744 m² 平均 129,936 m² /1件

ホテル・マンション 50,000 m²以上

12物件 1,066,359 m² 平均 88,863 m² /1件

設備投資 50,000 m²以上

45物件 5,526,668 m² 平均 122,814 m² /件

公共施設 オリンピック関連 50,000 m²以上

6物件 606,815 m² 平均 606,815 m² /件

病院・学校関連 30,000 m²以上

27物件 1,355,892 m² 平均 50,218 m² /件

今年9ヶ月間でこのような状態です。日本各地で大型物件が進み、需要大となってきました。

②ボルトメーカーの生産が間に合わない。

メーカーの想定した需要増以上に需要が積みあがったことも影響しています。シェア40%の某メーカーが、9月の台風により一時生産・出荷が滞ったことも一因です。大手5社のボルトメーカー(供給率98%)による生産は、今年の春以降10,000t/月の供給量が8,700t/月となり、13%の減となっています。

③ボルトの母材となる特殊鋼棒線の調達が困難になってきました。なぜならこの母材は、自動車や工作機械にも使われており、産業機械向けが堅調に推移するのに伴い、建築用に十分に回らなくなりました。

④溶接工不足により、鋼材の継手部がボルト継手に移行されたことも原因と言われています。

⑤これは、某設計事務所の社長から聞いた話ですが、某ゼネコンが膨大な量のボルトを先行発注したとのこと・・買い占めがあったと聞きました。

いずれにしても、各種要因が重なって今のボルト不足につながっています。

(対応策)

建築に関しては、韓国のボルトメーカーが日本規格を取得したことにより、韓国製のボルトを使用することが考えられています。ただし、施主・設計からの了解が必要です。

土木に関しては、韓国・台湾のメーカーから納入している現場があります。

また、仮設構造物のボルトは、台湾メーカー製が使用され始めたようです。

リベットの復活は、ダメでしょうか？

コークスを焚いた釜で真っ赤に焼けた鉄の鋏を、投げ手が長いはさみで掴んで2~30m投げる。それを受け手が鉄の漏斗で受ける。真っ赤な鋏は、吸い込まれるように漏斗に落ちる。その鋏を継手の穴に入れると(素手では無理だ)二人のカシメ役がリベットハンマーで締める。ビルの鉄骨の上で、バリ！バリ！バリ！と凄まじい音がする。投げ手と受け手とカシメの連携プレイには、鉄骨現場のロマンさえ

感じられる。(リベットフェチの言葉より)

・・ということで高力ボルトについて調べてまいりました。現状では、鋼材やボルト材料の不足、また人材不足による工事価格の上昇は当然のことですが、さらに、鉄骨工事に続く次の工事材料・・外壁材等々の納入の遅れも考えられます。また、鉄骨工事の遅れによる工期全体への影響が大きな問題となります。工事完成が遅れば契約不履行、営業補償問題も起こるのではないのでしょうか。

ここで気分転換。鉄骨から一変、木造のお話をします。

現在、建築コスト管理システム研究所(コスト研)では、今年度から2年間で「木造工事数量積算基準」をまとめる作業に入りました。今まで庁舎・学校・病院等々の構造体が木造の場合、積算基準がありませんでした。そこで国土交通省からの木造工事数量積算手法を基に積算基準化を始めたところです。まだまだ問題が山積です。

木造の話題をもうひとつ。

一年ほど前のお話ですが、S林業が2041年までに東京丸の内に木構造の超高層ビルを建設するという構想計画「W350」が発表されました。

地上70階 高さ350m 延べ床面積455,000㎡
注文住宅8,000棟分の木材185,000㎡を使用する
とか、総工費は6000億円と試算されています。

このような建物を、新しい木構造積算基準で積算してみたいものです。

この記事は

鉄鋼新聞・日本経済新聞・建設工業新聞・日刊工業新聞・産業新聞・NIKKEI STYLE等々ネット情報。大手ゼネコン数社・IT設計事務所の皆様からのお話や資料、大型物件のデータは「風声だより(H30/10/10)」を使わせていただきました。

岐阜だより

地域委員会 岐阜

委員長 加藤 一也

前月号で紹介した続きです。1、北陸支所との交流会は2年ぶりに実現しました。9月8日に、岐阜羽島から一路新幹線にて米原経由で金沢に。北陸支所所員6人に出迎えていただき、駅前の会議専用テントビルにおいてお互いの活動報告について意見交換を行いました。夜は近江食堂にて懇親会を行い、今後の事を考えると良い経験でした。

次に2、岐阜市新庁舎建設工事に伴い実際の積算を把握するために現場見学会にて勉強する。

まずは新庁舎の工程を説明します。

2018年2月27日開札され、3月29日議会承認→契約となり、4月27日10時から起工式が執り行われました。

それ以降月に2回発行の広報岐阜に掲載されるようになり市民に限らず全国でも注目されるようになってきたようです。

また、BIMを使用して施工をするのが特徴です。BIMとは実際に建てる建物をパソコンの中で作る。

それを基に同じものを「現場で造る」のです。図面(施工図)を作成して細かい納まり(例)基礎鉄筋と設備配管とか、鉄骨材と配管、サッシとかの接触面に際して納まりを確認していきます。

5月中旬より山留工事が始まり、6月初旬から基礎掘削工事が開始しました。順調に進むかと思われましたが7月6日台風7号(倉敷市真備町を池と化した)の長雨、9月23～24日にかけて岐阜市に1時間23.5mmの大雨をもたらした台風21号や9月30日の台風24号の最大瞬間風速29.9mを観測した風の影響により基礎下部分に時間が費やされたようです。

それとは別に地域とのコミュニケーションを図るうえで、岐阜市から岐阜小学校の生徒さんに、作業所で使用

する巨大クレーン3台の愛称を募集。7月20日に愛称名が決定。それから自走式クレーンが場内に設置されました。クレーンの名称は「たすけーる」、「ささえーる」、「願い」に決まりました。

設置場所等については岐阜市図書館(メディアコスモス)南入口入って左側に設置されている掲示用ポストに有る「建築かわら版」をご覧ください。



それから3ヶ月後の10月16日、KYBから免震・制振用オイルダンパーの検査データを改ざんして設置していた事が発表され、メディアで大きく取上げられました。その後、川金HDの偽装も発覚しました。

現庁舎建替工事は2011年3月11日に宮城県沖を震源とする観測史上最大となる東北地方太平洋沖地震により震度7の強い揺れと津波を伴い東

北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害をもたらした東京電力福島第一原子力発電所が被災し放射能物質が漏れ出し深刻な事態になり、それから、熊本地震、大阪北部地震と連鎖する地震により、想定される南海トラフ巨大地震に備え住民を被害から守るための防災拠点とすることを基に建替工事を計画実施しましたが・・・10月15日に未曾有の免震疑惑報道が発表されました。

岐阜市は新庁舎工事で KYB 子会社の装置を 6 台発注済みであり、今回の問題発覚を受けて他社製品に切替える検討を始めたが、他メカにおいても改ざんが発覚したため、KYB の責任においてしっかり検査した大臣認定適合品を工期に間に合うように納品することで工事を進める事に決まりました。

↓広報岐阜 12 月 1 日号に掲載された 2019 年に行われる第 2 回現場見学会（免震装置）の案内

また、市長より不用建築費の削減として EV2 基の廃止が 12 月 13 日に市議会にて変更議案が可決され、工事費が減額になるようです。

今後、市民のために楽しく利用できる賑わいのあふれる魅力的な新庁舎の実現に、地域委員会岐阜は岐阜市、大垣市の新庁舎建設進捗状況を把握し、2021 年 1 月末完成までの様子を東海・北陸支部の会員の方々に限らず、全国の会員の皆様方に配信しようと考えています。

また、岐阜市では新庁舎の建設に活用する事を目的

とした建設事業寄附金募集中です。(右図)。岐阜市外に住んでおられる方(個人)には、岐阜市ゆかりの特産物等が贈られるようです。詳細については岐阜市役所に一度問合せして下さい。

↓写真は 2019 年 1 月 9 日南面から現場進捗状況



クレーンの名称記載の白シート (ささえーる) (願い)

2019 謹賀新年 新年の御挨拶



公益社団法人
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事
支部長 榎谷 智彦

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階
TEL (052)264-0661 FAX (052)264-0662
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp
URL <http://bsi-th.052e.com/>



株式会社 棟 MUNE 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫
Tetsuo Torii

〒460-0008 名古屋市中区栄2-5-13 アイ・エスビル2階
TEL: 052-602-9525 内 FAX: 052-602-9526
E-mail: aomunecp@mvg.biglobe.ne.jp 内
tetsuo.torii@mune-kenchiku.co.jp
URL: <http://www.mune-kenchiku.co.jp>



代表取締役社長

藤曲 充信

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市南区渡瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854
携帯 TEL.090-7956-5813 E-mail magari@ips-r.co.jp



株式会社 浦野設計

URWD ARCHITECTS & ENGINEERS



代表取締役社長

浦野 廣高
技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市西区八幡町90番地
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712
URL <http://www.urano-s.co.jp/>
E-mail: h-urano@urano-s.co.jp
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9582

再生紙使用



えにし
株式会社 縁
一級建築士事務所

名古屋事務所 所長

古川 元
FURUKAWA GEN
建築積算士

〒460-0003 名古屋市中区栄2丁目2番22号 名古屋センタービル別館
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063
携帯 080-8370-6474
E-mail: g-furukawa@enishi-cm.co.jp
URL: <http://www.enishi-cm.co.jp/>

建築設計・監理・再開発コンサルタント



株式会社 押田建築設計事務所

代表取締役社長 押田 洋治

〒930-0085 富山県富山市丸の内3-4-16
TEL.076-492-1225 FAX.076-492-4747
<http://www.oshidasekai.co.jp/>



創業71周年

川辺建設株式会社

川辺一級建築士事務所

本社 名古屋市北区清水二丁目4番10号(川辺ビル)
〒462-0844 TEL(052)931-0181
FAX(052)931-0187
e-mail kawabe-k@gld.mmtr.or.jp
URL <http://www.gld.mmtr.or.jp/~kawabe-k>

代表取締役社長

川辺 清次 一級建築士、設備設計 一級建築士
一級建築施工管理技士、宅建取引主任

占紙100%再生紙



国豊積算株式会社

専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945
支所: 東京・大阪・福岡・札幌
URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>

2019 謹賀新年 新年の御挨拶



SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
建築設計・監理

株式会社 鈴木一級建築士事務所
代表取締役 鈴木 保二

〒930-0076 富山市長柄町2丁目1番21号
TEL (076) 421-9118 FAX (076) 424-7454

株式会社 刈谷建築積算事務所

代表取締役 とき 谷 智彦
会 長 珊 谷 将紀
代表取締役 珊 谷 将紀
社 長

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町 6-11-2
TEL (052) 859-0686
FAX (052) 859-0687
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀 45-5
TEL (0557) 68-5842
FAX (0557) 68-5844



三四五建築研究所



株式会社 中野積算

名古屋支社

支社長 山 北 大 蔵
DAIZO YAMAKITA
建築積算士

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目 29-10 錦通KDC*
支社 TEL 052(856)6981 FAX 052(856)6960
E-mail:dyamakita@nakano-sekisan.co.jp
本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-13-7 TEL 03(3392)6121
支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 林積算

代表取締役 林 進

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階
TEL 052-262-3781
FAX 052-262-3783
E-mail susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp

有限会社 高島建築積算事務所

所 長 高島義昭
一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2
TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340
携帯電話 090-3293-6920
E-mail:takasima@aqua.ocn.ne.jp

職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会
富士教育訓練センター

会長 才賀清二郎

〒418-0101 静岡県富士宮市榎原 492-8
TEL 0544-52-0968 FAX 0544-52-1336
<http://www.fuji-kkc.ac.jp>



コストエンジニアリング&コンサルタント
株式会社 二葉積算
名古屋支社

取締役支社長

中川 英 人

NAKAGAWA HIDEYO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-17-30(河越ビル)
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-6669
E-mail nakagawa@futaba-sekisan.co.jp
URL <http://www.futaba-sekisan.co.jp>
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌

2019 謹賀新年 新年の御挨拶

めいほうせきさん

明峰積算事務所



代表 宮西 繁
篠田 奈々
上山 祥子

〒930-0861 富山県富山市有沢新町39
(婦中事務所) Tel 076-425-7330
Fax 076-425-7363



飯嶋 俊比古

代表取締役
工学博士

株式会社飯嶋建築事務所
461-0004
名古屋市東区葵1-25-1
ニッシンビル 204号室
TEL(052)937-7451
FAX(052)937-6937
ijijima.toshihiko
@ijijima-sd.co.jp

IIJIMA

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長 小田 義彦

常務取締役 渡邊 國雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
<http://www.ito-aei.co.jp>

BIM対応
建築積算システム

FKS

次世代見積書作成システム

KYOEI
COMPASS

マンション大規模修繕・改修費用
リニューアル積算ソフト



国土交通省ガイドライン準拠
長期修繕計画表作成ソフト

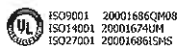
KLC



協成産業株式会社

関西ICT第一部 関西営業課

〒553-0003 大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビルディング
【TEL】06-6451-9781
【FAX】06-6451-9810
【URL】<https://www.kyoei.co.jp/fks>



TOMOデータサービス株式会社

代表取締役

今岡 朝和

本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル
TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
E-mail: imaoka@tomodata.co.jp
<http://www.tomodata.co.jp>
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル
TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081



賛助会員名簿

東海北陸支部

会社名	住所	電話	ホームページ
(株) 飯島建築事務所	名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル204号室	052-937-7451	http://www.ijima-sd.co.jp/
(株) 伊藤建築設計事務所	名古屋市中区丸の内1-15-15	052-222-8611	http://www.ito-aei.co.jp/
北恵(株) 営業推進部	大阪市中央区南本町3-6-14 イトウビル	06-6251-8361	http://www.kitakei.jp/ja/index.html
協栄産業(株) 建設ソリューション事業部	東京都大田区平和島6-1-1 TRCマラックスビル	03-3767-2345	https://www.kyoei.co.jp/fks/
共立建設(株) 東海支店	名古屋市中区松原三丁目2番8号 テルウェル新松原ビル	052-324-2191	http://www.kyoritsu-con.co.jp/
(株) キング鈴井商会	名古屋市中村区野田町字中深18-3	052-412-4112	http://www.kingsuzui.co.jp/
(株) 末永製作所	岐阜県揖斐郡揖斐川町房高1822-3	0585-22-0778	http://www.suenaga-ss.co.jp/
全国建設産業教育訓練協会 職業訓練法人 教育訓練課	富士宮市根原492-8	0544-52-0968	http://www.fuji-kkc.ac.jp/
TOMOデータサービス(株)	大阪市北区天神橋7-5-23	06-6351-8452	http://www.tomodata.co.jp/
トヨタT&S建設(株)	名古屋市昭和区御器所通3-23	052-735-3400	http://www.toyota-ts.co.jp/
(株) 藤尾建築構造設計事務所	名古屋市中区丸の内1-13-11 ジャ ルダン桜橋5B	052-203-5857	http://www.fujio-se.jp/

建築積算士補教育認定校

東海北陸支部

校名	学部・学科	所在地	ホームページ
学校法人 愛知産業大学	造形学部建築学科	岡崎市岡町原山12-5	http://asu-g.net/univ/
愛知県立名古屋高等技術専門校	訓練課建築総合科	名古屋市北区安井2-4-48	http://www.pref.aichi.jp/shugyo/koukyou/nagoya
愛知県立碧南工業高等学校	建築科	碧南市丸山町三丁目10	http://www.hekinan-th.aichi-c.ed.jp/
岐阜県立国際たくみアカデミー 職業能力開発短期大学校	建築科	美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3545-3	http://www.takumi.ac.jp/
静岡県立島田工業高等学校	建築科	島田市阿知ヶ谷201	http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimada-th/home.nsf/
静岡県立浜松工業高等学校	建築科	浜松市北区初生町1150	http://www.hamako-ths.ed.jp/
相山女学園大学	生活化学部生活環境デザイン学科	名古屋市千種区星が丘元町71-3	http://www.sugiyama-u.ac.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 熱田校	建築科	名古屋市熱田区花表町19-14	http://tpchs.denpa.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 金山校	建築科	名古屋市中区金山二丁目7-19	http://www.tpc.ac.jp/
名古屋市立工業高等学校	建築システム科	名古屋市東区芳野2-7-51	http://www.kogei-th.nagoya-c.ed.jp/

一般社団法人

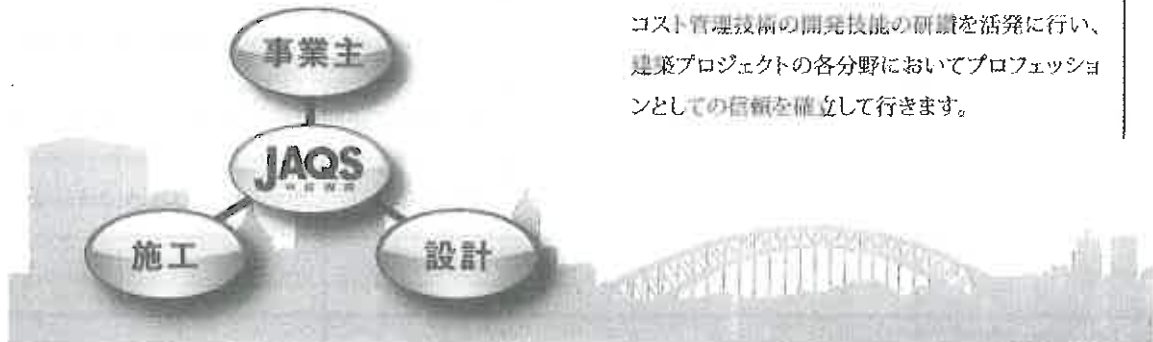
JAQS

日本建築積算事務所協会東海支部

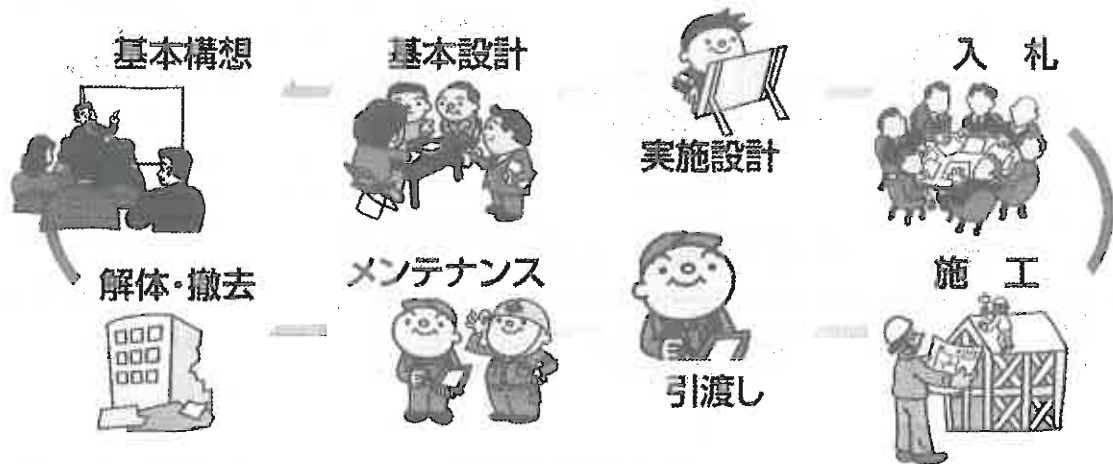
Japanese Association of Quantity Surveyors Tokai

▶ 事業内容

私達は、コスト管理の専門家集団として建築コストの透明性、公平性、妥当性を確保し、社会のニーズに積極的に対応しています。



▶ 基本構想から解体・撤去まで、あらゆる段階でのサポートをいたします。



JAQS 東海支部会員名簿

事務所名	代表者	住 所
(株)棟建築企画 (東海支部 代表)	鳥居 哲夫	名古屋市中区栄 2-5-13 アイエスビル 2階 Tel 052-602-9525 fax 052-602-9526
(株)アイピーエス	藤曲 充信	浜松市南区渡瀬町 1000-3 Tel 053-461-8866 fax 053-461-8854
(有)エスム積算	杉山 祐紀	岐阜県本巣市下真桑 698 Tel 058-338-222
(株)劔谷建築積算事務所	劔谷 将紀	名古屋市中区昭和区広小路本町 6-11-2 Tel 052-859-0686 fax 052-689-0687
(株)二葉積算 名古屋支社	中川 英人	名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 6階 Tel 052-202-4800 fax 052-202-4802
(株)林積算	林 進	名古屋市中区栄 5-26-39 GS栄ビル 6階 Tel 052-262-3781 fax 052-262-3783
明峰積算事務所	宮西 繁	富山市有沢新町 39 Tel 076-425-7330 fax 076-425-7363

平成
29年版

建築数量積算基準・同解説

◎制定/建築工事建築数量積算研究会 ◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会
◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価4,320円(税込)

基準本文、解説部分および参考資料を改定し、平成29年版として発刊した最新版!

平成
29年版

公共建築設備数量積算基準・ 同解説

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価4,428円(税込)

「公共建築設備数量積算基準(平成29年版)」に基づいて、建築設備数量積算の全般にわかりやすく解説。

平成
30年版

建築工事内訳書標準書式・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価4,968円(税込)

建築工事の積算業務に携わる方々に向けて! 国の統一基準として制定された「官民合同策定」の最新版!

平成
30年版

公共建築工事内訳書標準書式 【設備工事編】・同解説

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価4,968円(税込)

6年ぶりの最新の内容! 平成30年3月に改定された「公共建築工事内訳書標準書式(設備工事編)」との整合性を図り、記載内容等の見直しを行った最新の解説書。

鉄骨積算の資料付

鉄骨積算の基礎知識

◎著/一級建築士・建築コスト管理士・建築積算士 松本伊三男

定価2,700円(税込)

「鋼材や高力ボルトや溶接など」の「規格や仕様等」と鉄骨を構成する部材の名称や役割、
拾いの手順など、鉄骨積算の基礎知識を解説!

改訂
4版

現代建設工事契約の基礎知識

◎著/島本幸一郎 川尻恵理子

定価3,132円(税込)

取引を巡る契約についての注意点・問題点を実務に即してわかりやすく解説。



株式
会社 大成出版社

〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11
TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

ホームページ <http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

積算業務の効率化に貢献する TDS Application Series

出荷金額 5000 本以上の実績 | 問題発生時の超決速対応 |

TDS [見積]

お客様のご要望にお応えした、超簡単仕上扱いソフト |

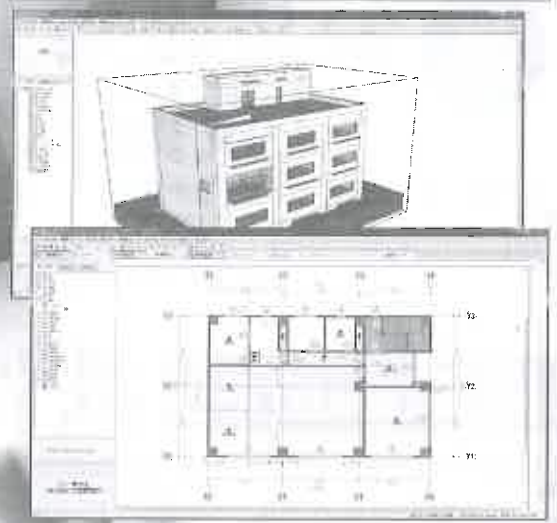
TDS [仕上]

加算計算必要なし | 図面計測の効率化 |

TDS [イメージ計測]

配膳方式 |

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOS は朝日積サーベイ社の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

URL: <http://www.tomodata.co.jp> E-Mail: info@tomodata.co.jp

大阪支社: 〒551-0041 大阪市 区天神橋7丁目5-23 北谷ビル TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
 東京支社: 〒110-0015 東京都 港区東上野3丁目14-7 船田ビル TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7011

訃 報

当協会東海北陸支部前監事の佐野洋治様が、平成30年7月10日ご病気のため、満70歳の生涯を閉じられました。

佐野様は、永年にわたり副支部長や監事を務められ、東海北陸支部の中核として支部活動を支えてこられました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

編 集 後 記

平成30年は、大きな自然災害に見舞われた年でした。

建築業界でも、大手メーカーによる免振・制振用オイルダンパーのデータ改ざんという絶対にあってはならない安全性に関わる、重大な事件が起きました。

私の事務所の手掛けた物件もこの中に含まれており、いまだ対応に追われていますが、対象物件の多さから取替に数年かかると聞いております。ここ何年か立て続けに起こるこの種の偽装により、日本の製造業に対する信頼が大きく失墜しています。建築業界の体質に由来する事件であり、根本から見直さなければ、また同じことが起こるのではないかと思います。

又、偽装ではありませんが、鉄骨のハイテンションボルトの不足から、鉄骨造の工期の予測がつかないという困った事態も起きています。このあたりの事情については、東京在住の西田さんから詳しいレポート届いておりますので、是非ご一読いただければと思います。

さて、昨年度から取り組んできた「積算における質疑応答」改善については、質疑回答書フォーマット案を作成するなど、かなり成果が出てきました。積算協会本部を始め建築八団体、建設業協会等にも広く働きかけを行い、全国的な規模での展開が出来ることを願っています。

それでは本年も引き続き、皆様のお役に立つ支部報を提供できますよう努力してまいりますので宜しくお願い致します。

広報委員	担当役員	林	進
	委員長	堀田	淳二
	副委員長	長山	充裕
	副委員長	松本	利治
	委員	加藤	一也
	委員	桑名	利男
	委員	後藤	学
	委員	高嶋	義昭
	委員	都築	修
	委員	山田	貴
	事務局	道家	事務局長

支部報 『東海北陸』 No.70

発行 公益社団法人 日本建築積算協会
東海北陸支部

名古屋市中区栄四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2019年2月 吉日

建設コストアプリケーションの協栄産業

建築

積算

見積

BIM

設備

公共事業

あなたの業務にあったアプリケーションをご提案します!

建築 積算

RC数量積算システム

BIM対応

FKS RC

伏図データから3次元へ自動展開
複雑な建物形状にも柔軟に対応



3Dモード

- 3Dモードにより建具や増打、部位の高差差を視覚的に確認し、修正も行えます
- セットバックやデッキ、壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- 根切図を自動で作成し、土工・地業数量を算出、杭工事も対応

建築 積算

仕上数量積算システム

BIM対応

FKS FN

PDFの図面から部屋形状を作成
長さ・面積・箇所を簡単計測



PDF積算

- 部屋で拾った材料は部位別（一次集計）、科目別（二次集計）に自動集計
- 設計変更に対応している為、変更後の数量差分もすぐに印刷可能
- 新築はもちろん、改修工事や概算にも利用できます

建築 見積

見積書作成システム

KYOEI COMPASS *Second Stage*

単価自動値入や下見積（業者見積比較）機能を搭載!
Excel感覚ですぐに使えます

- 数量、単価の割掛け機能や、見積金額の総額を固定した逆シミュレーション機能で、コスト調整を容易に実現
- 複数棟の見積書も一括導入機能で早く、ミス無く対応できます
- Excelデータの入出力機能も充実

設備 見積

設備見積書作成システム

K-ESCORT *Second Stage*

総合建設業様向けに新たに開発!
建設会社の視点に立った便利な機能を搭載!

- 各種資材分類別に数量・金額によるシミュレーションが行えます
- 単価や材料マスタは、支店毎/世代毎に管理され、複数保持が可能
- 工費/機手・付属品類/消耗品類などの設備一式物を、計算処理によって自動発生

設備 積算

機械設備、電気設備対応

設備積算システム
みつもりくん PRO-SecondStage

PDF図面に最適なエンジンを搭載!
拾出し作業がサクサク・軽快!

- ファイル容量の大きなPDF図面でも高速表示
図面に何枚も同時表示可能で効率アップ
- 条件と管理を結び付け、条件指定で材料が決まる
土工事は複数工種を選んで、差別設定を入れるだけの簡単操作

公共工事 積算

建築、機械設備、電気設備対応

公共営繕工事専用積算システム
みつもりくん ie

公共工事の入札における予定価格の
事後公表の対応はお済みですか?!

- 公示用設計書（PDF、Excel等）の取り込み機能で
工事内訳書を別編明細まで一気に交換!
- 各入札エリアに合わせた複合単価を作成する機能を搭載
ボタン1つで資料へ自動値入が可能

現場検査

建築、機械設備、電気設備対応

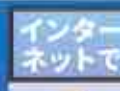
タブレット端末を利用した現場検査ツール

タブレット端末に取り込まれた図面に基
現場の検査業務を支援します!

- 現場での仕上、鉄筋、設備等の検査業務に利用可能
- 重い図面を持ち運ぶ必要なし
基の検査用紙記入と同様な感覚で、タブレットに入力が可能
- 現場での検査後、各協力会社別に振り分けていた検査が、
管理用パソコンで簡便印刷（PDF出力）

積算といえば協栄産業におまかせください!

<https://www.kyoei.co.jp/fks>



インターネットで 積算 FKS

検索

クリック!

[積算 FKS] で検索してください

KYOEI 協栄産業株式会社 関西ICT第一部 営業課

Email fks@kyoei.co.jp URL <https://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-8565 東京都大田区平和島 6-1-1 TRC アネックスビル
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 3-14-24 福島阪神ビルディング
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810